

目立たないモノでも視点を 変えれば輝き出す!

(株)シンコウギヤ

代表取締役 **梅澤 隆司** 氏 (太田支部所属)



Q & A

▼会社紹介

シンコウギヤは、現会長の父が一九八四年に創業したギヤ(歯車)の製造を行う会社です。現在は主に建設機械に使用される歯車を製造しています。

創業当時は高度経済成長がまさに始まるうとする時期で、国内全ての産業が右肩上がりに伸びていました。それから現在までに時代は大きく変わり、それに伴い歯車の製造技術や機械も変化してきました。私は社長を引き継いで八年になりますが、時代が変わっても創業者の想いを引き継ぎ、歯車の製造にこだ

わり続けるということは変わりません。

▼ギヤ(歯車)の役目とは

動力の伝達に使われる機械部品の一つです。役割としては噛み合うギヤに確実な動力を伝えることです。基本的に機械の中に組み込まれてしまうので、目立つモノではありませんが、役立つモノです。大きさの異なるギヤを組み合わせて回転スピードを変えたり、回転方向を変えたりもしています。また、種類も豊富で、円盤状の外側に歯が付いたり、内側に歯になっていたり、斜めに歯が切つてあるものもあります。皆さんが乗っている自動車にも数え切れないほどのギヤが使われています。

▼イチオシのPR

私が社長になり、掲げたテーマが「チェンジ&チャレンジ」。変化を挑戦につなげていきたいという想いを込めてチェンジを先につけました。

そのチャレンジとして「歯車を目立たせて付加価値をつけること」をキーワードに取り組んできた一つが「五円玉をピカピカに磨く」ことです。五円玉に



は、日本国内の全産業の発展という願いが込められています。五円玉の穴の周りに歯車を表すギザギザがあり

ます。これは工業分野を代表してデザインされたそうです。そこに目をつけた当社の社員から出た発想でスタートしました。五円玉を一枚一枚手で磨いて付

加価値をつけるのは地味な作業ですが、手にしたお客様からの「元気が出た」「感動した」などの手紙やメールは磨き続けた社員の励みにもなっています。その他にも、小さなギヤをバツジにしたりと、視点を変えて新しいことに挑戦し続けています。販路開拓など課題もあります。掲げたテーマそのものだと

▼今後の課題

やはり人の問題になると思います。次の世代を安定的に育成出来るかがカギになってきます。社員の意識を変え、その気にさせ、先に出た五円玉磨きの

様な社員発信の提案が増えてくることが期待されています。人と関わることで生まれる喜びや失敗をもっと経験してもらい、現場の作業員から仕組みを作る側へ育ってもらいたいと思います。また、次世代という意味ではインターンシップも充実させたいと考えています。製造業を知ってもらうことはもちろん、企業側として第三者のコメントが直接聞けるメリットは大きいです。地域貢献という視点から見ても取り組むべきだと感じています。

▼会社の将来像

ずっと考えているのは、工業団地への進出です。そのためには本業であるギヤの加工精度を高めるための設備投資、難しい注文に応えられる技術の蓄積など個人と企業、双方の成長が必要になってきます。経営者としてバランスを取りながら、目標達成を目指します。さらに同友会のネットワークを活かし、お客様の要望にスピーディーに対応出来るワンランク上のサービスも心がけていきたいと思っています。

所在地 / 太田市植木野町227
連絡先 / TEL0276-26-1685
URL / <http://www.shinkou-gear.co.jp>

